

染色に関連したトラブルの中には、染色加工に使用した薬剤や染料が纖維を損傷させる原因物質になっていることがあります。今回はその典型例として、硫化染料による綿纖維の脆化<sup>ぜいか</sup>破損を紹介します。

## 衣類の状態

ともに酸化して硫酸を生成し、綿纖維を脆化させたもの。

ゆかたの柄になつてている黒色の葉の部分が脆化し、破損した状態。

黒色の柄部分を引っ張ると容易に破れる。黒色の柄部分はpHが2～3の酸性を示し、硫酸イオンが検出されたことから硫酸で綿纖維が脆化したものと推測できる。

## 原因

染色に使用した硫化染料の構成成分である硫黄が、時間の経過と



婦人用ゆかた

ともに酸化して硫酸を生成し、綿纖維を脆化させたもの。

## 事故の防止対策

染料自体が原因となっているため、クリーニングでの防止策はない。染料として硫化染料を使用しないことが抜本的な防止対策となる。硫化染料を使用する場合には、酸中和剤による加工をするなどの対策が求められる。



監修／クリーニング総合研究所

**素材  
特性  
に注意**

## 硫化染料による纖維の脆化

硫化染料は構造中に硫黄を含



pHを確認(例)



黒色の葉っぱ柄部分が脆化し、破損している  
(青色の生地の上に置いて撮影)

- 「衣料管理情報」は全ク連ホームページからPDFをダウンロードいただけます。  
全ク連HP <https://www.zenkuren.or.jp> 「お知らせ」→「衣料管理情報」